

2018 年度日本認知言語学会奨励賞授賞者報告書

2018 年 9 月 24 日

日本認知言語学会
会員各位

日本認知言語学会
会長 辻 幸夫
日本認知言語学会奨励賞選考委員会
委員長 鷺見幸美
委員 楠見 孝
委員 濱田英人
委員 宮浦国江

日本認知言語学会第 19 回全国大会における学会奨励賞選考結果につき、下記の通り報告いたします。

記

授賞者名（所属）：小松原哲太氏（立命館大学）

授賞発表名：日本語における直喩の写像方略の類型

授賞理由：

本発表（田丸歩実氏との共同発表）は、直喩を写像構築の機能をもつ構文として規定するアプローチをとり、発表者らの構築した『日本語レトリックコーパス』に含まれる直喩の用例を対象として、直喩の写像方略の特徴を、考案した 5 つの尺度に基づき分析したものである。分析の結果、直喩には、直接的に比喩を明示する「直接写像方略」が圧倒的多数を占めるわけではなく、「隠喩強化方略」、「例示方略」といった他の方略がかなりの割合で含まれることを明らかにしている。

従来あまり扱われてこなかった直喩における写像構築プロセスの精緻化を目指している点で、認知言語学における比喩研究に大きな貢献が期待できる研究であること、多くの用例を収集し、一定の手順によって分析していく手法が妥当なものであることが評価された。さらに、今後の発展が期待できる意欲的なテーマ設定であること、ポイントを絞り、よく練られた構成で、しっかりしたプレゼンテーションであることも、審査員から高い評価を得た。

以上のことにより、日本認知言語学会奨励賞に相応しいものであると判断した。

以上